



「仕事の世界における男女平等の促進」に関する ILO シンポジウムのご案内

働く男女の平等を促進することは、すべての男女が仕事において能力を十分に発揮し、活力ある社会を築き、維持してゆく上で不可欠です。

日本でも、職場における男女平等を促進するため、男女雇用機会均等法にもとづき、さまざまな取り組みが行なわれてきました。しかし、仕事の世界の現状を見ると、性別による就業分野や職種の違い、雇用形態の多様化、男女間の賃金格差、女性の幹部登用、男女労働者にとってのワーク・ライフ・バランスなど、取り組まなければならない課題が数多くあります。

ILO は 2009 年の総会で、「男女平等をディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の中心に」を議題とすることを決定し、世界全体でジェンダーに関する意識向上を図るためのキャンペーンを実施しています。この機会に、ILO 駐日事務所では、ILO 本部からジェンダー専門家2名を招聘して、世界各国の好事例を紹介し、今後の課題を討議するシンポジウムを開催いたします。

参加ご希望の方は、お名前、ご所属、ご連絡先を記載の上、FAX: 03-5467-2700、あるいは Eメール ilo-tokyo@ilotokyo.jp で、ILO 駐日事務所までお申込み下さい。

日時: 2008 年 9 月 17 日 午後 1 時 30 分 - 5 時 30 分

場所: ウ・タント国際会議場(国連大学ビル3階、渋谷区神宮前5-53-70

(JR 渋谷駅 / 東京メトロ表参道駅より徒歩約 5 分)

言語: 日英同時通訳

【プログラム】

開会挨拶 森山真弓 衆議院議員

第 1 部 講演「仕事の世界における男女平等を促進するには」

1. 基調講演

ラファエル・クロウ ILO 本部ジェンダー平等局上級専門家

- 2009 年の ILO 総会議題と男女平等促進に関する世界各国の好事例の紹介
- シヨウナ・オルネイ ILO 本部国際労働基準局平等チーム・コーディネーター
- 職場における男女の機会と待遇の平等に関する国際労働基準とその適用例

2. 仕事の世界における男女平等の促進に関する日本国内の好事例の紹介

佐藤博樹 東京大学社会学研究所教授

第 2 部 パネルディスカッション

「職場における男女平等とワーク・ライフ・バランスを促進するための課題に取り組む」

モデレーター: 佐藤博樹 東京大学社会学研究所教授

パネリスト: 日本の政労使パネリスト、ILO ジェンダー専門家

厚生労働省 堀井奈津子 雇用均等・児童家庭局 調査官

連合 山口洋子 副事務局長

NTTドコモ 川崎博子 人事部 ダイバーシティ推進室長